

## 平成26年度市政懇談会実施記録調書

1. 実施対象	対象地区	那珂湊中学区
	参加状況	43名
2. 実施日時	平成26年6月29日(日)午前9時30分～午前11時35分	
3. 実施場所	那珂湊コミュニティセンター	

### 実施内容（発言，要旨，集約事項等）

1. 那珂湊支所に災害対策の課の新設について（市民生活部・教育委員会）
2. 県道那珂湊・大洗線(和田町常陸海浜公園線)の北神敷台地区交差点への信号機設置について（市民生活部）
3. 川鶉の糞被害対策について（市民生活部）
4. ひたちなか海浜鉄道の新駅について（企画部）
5. 道路の改善について（建設部）
6. 和田町常陸海浜公園線の計画スケジュールについて（都市整備部）
7. 下水道について（建設部）

◇事前質問1（那珂湊支所に災害対策の課の新設について）

津波は、市本庁の防災本部では海岸部より遠すぎて、液状化も含め津波の状況をなかなか判断するのは難しいと思われる。

津波等に関しては、那珂湊支所に本庁とは別に災害に関する課など、海岸部の様子がわかる部署を設けていただければ、今後、地震にすばやく対応できると考える。

■市民生活部長

災害対策課の新設についてお答えします。津波の来襲時は、高台への避難が第一であり、そのための「情報収集」、「住民等への情報伝達」などが重要であると考えております。

市では、迅速な避難ができるよう、新たに津波避難マップを作成し、今年6月に配布したところであります。

災害時の対応については、台風や大雨などによる「土のうの設置」、「高潮時の沿岸部の巡視」、また、「水門の開閉」など、消防本部、特に神敷台署と連携を図り、対応にあたっているところであります。

また、地域の災害情報の収集につきましては、沿岸部の各種団体や自主防災会の防災情報連絡協力員から、災害情報を提供いただいているところありますが、市の新たな取組として、東日本大震災を教訓に、「津波の到達」や「那珂川の遡上」、「沿岸地域の状況」等をリアルタイムで把握できるよう、今年度、那珂湊漁港周辺や那珂川河口、平磯漁港周辺に監視カメラ3台を設置し、市役所と消防本部で情報を共有しながら、迅速な津波避難対策を講じていくことといたしました。

市では、市民の安全、安心を第一と考え、情報を的確に把握するとともに、消防との「連携強化」をより一層深め、迅速な災害対応に努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

◇事前質問1 関連

災害対策課の設置に関連して災害対策について、その前に教育長に今の教育施設が本庁に行くそうですね。その跡地に何か考えがあるのか。当時、今から20年前の合併した時です。その教育委員会を残したのは合併協議会に入っております。職員の方も何人か記憶があると思います。私も当時、市会議員の一人ですから、当時の清水市長と議員同士で教育委員会は残しましょうというのが堅実に現在まであった事です。それにも関わらず、3.11の地震で危険で入れないのかわかりませんが、新庁舎の方へ移ると。従って私は反対しませんよ。その代わり、何らかそれに担うものを残す考えがあるのか、全然ないのか。後でいいですから説明を聞きます。

■教育長

この度、新しい庁舎が出来るという事で、教育委員会が本庁に移転することになりましたが、経緯を見て参りますと、教育委員会として一番課題があったのは市長部局との連携がございまして。現在もそれを補うために様々な手立てをとっておりますが、やはり教育委員会は外局ではありますが、遠くに離れておりますが、市長部局の一部として機能した方が、市長や各部局の関係が大事であろうという事で今回の移転が実施されているところでございます。場所が移っても教育に対する姿勢を変えたり、また湊地区の小中学校の問題を軽視するといった事はないつもりで頑張りますのでご理解をお願いしたいと思います。

◇事前質問 1 関連

防災の件ですが、県の主催で防災訓練をりましたが、その時に津波の高さ 11m というのが出ていましたが、もし、その津波が来たら那珂湊の平らな部分が全部やられると思います。11m の津波が来た時にどうなるのか。低いところがどうなるのかシミュレーションが出ているかどうか。

■市民生活部長

津波避難マップを市報に併せて沿岸部全世帯に配らせていただいております。そのマップでのお話しかと思いますが、那珂湊市内の津波が 4 m という事で、4 町目の信号の通りまで上がってきています。12m というのは、最大遡上高です。津波の高さではありません。4 町目のところで 4 m の津波が来ますという形になります。12m というのは、最大遡上高で津波が上がっていった地点で、湊市内で 4 町目の交差点で 4 m となります。

◇事前質問 1 関連

**防災訓練のときに 12 メートルと 4 m の津波との関係がよくわからないのですが。**

■市民生活部長

津波の高さが 12 メートルではなくて、4 m の津波が来た時の最大遡上高が 12m という事です。津波遡上高というのは、津波の最終到達地点で、東京湾の平均海面を基礎にした高さを言います。

◇事前質問 1 関連

**津波の感知器についてお聞きします。3 台設置するというお話しでしたが、性能としてはどうなのでしょう。また、器具を陸からどの辺のところに付けるのか。**

■市民生活部長

カメラは赤外線カメラではなくて、高感度カメラになります。少しの照度で映るカメラになります。まず、湊漁港を映し出すために海門橋の大洗側に 1 箇所、また平磯側を映すのに殿山の高台のマンション側から北側を映す形です。河口部分については山ノ上町から川を映す予定をしています。カメラは無線での情報になりますので、今やっているのですが、中継基地も必要になる事でその辺の精査をしながら 3 台付けていきたいと思います。

◇事前質問 1 関連

**それをやると万全ですかね。それであれば当座は新設はないという事ですね。**

■市民生活部長

支所の職員を、災害対応という事で働く形で考えていますし、1 つの課題として今後、検討させていただくという事でご了承いただければと思います。

◇事前質問 2 (県道那珂湊・大洗線(和田町常陸海浜公園線)の北神敷台地区交差点への信号機設置について)

県道那珂湊・大洗線(和田町常陸海浜公園線)は、朝夕の通勤通学時には交通量が多く、特に、第 1 保育所からしあわせプラザ前交差点前の区間は、速度制限が 40 キロメートルに変更されているが、時速 60 キロメートル前後での走行車が多く、高齢者・幼児や通勤車両が交差点の横断に大変苦慮している。

小学生の人身事故も発生し、物損事故などもあり危険な交差点であることから、北神敷台

## 交差点に信号機の設置を要望する。

### ■市民生活部長

県道那珂湊・大洗線の北神敷台地区交差点に信号機の設置ご要望につきましては警察の管轄となりますので、市で現地確認を行い、所管するひたちなか東警察署へ信号機設置の申し入れを行いました。（5月22日に申し入れ）

東警察署において、現地調査を行い、県警本部への上申を検討するとのことでした。信号機の設置については当該箇所の車両や横断歩道を利用する人数等の交通量を調査した上で、最終的には公安委員会が決定することになりますので、ご理解をいただきたいと思います。

### ◇事前質問2 関連

**神敷の信号は単なる普通の信号ですか。赤の点滅ですか、黄色の点滅ですか。それは県警、公安委員会というのは我々は知っています。経験済みで。県警がダメならば市が独自で、赤や黄色の点滅を設置するか、色んな方法を市で考えなければならないのではないかと。**

### ■市民生活部長

交差点についても規制は公安委員会です。あの交差点が危険なのは重々承知しておりますので、警察にも要望をしてきました。その辺をわかっていたいただきたいと思いますところでは。

### ◇事前質問3（川鶉の糞被害対策について）

**田宮原の新堤西側の山林に、数年来おびただしい数の川鶉が住み着いており、山林の樹木は糞で真っ白になり枯木が目立っている。また、川鶉の糞や魚の食い残しが住民のクルマや住宅の屋根、ベランダ、庭等に落下し、生活環境が著しく悪くなっている。住民の健康と快適な住環境づくりの観点から、調査と対策をお願いしたい。**

### ■市民生活部長

現在の川鶉の状況についてですが、6月初旬に現地調査を行ったところ、ご質問にもありましたように、多数の川鶉が樹木に巣をつくり、木は白く枯れている状況でありました。また、季節、時間帯によっても、増減はあるかと思いますが、正午近くに100羽前後、夕方（午後5時ころ）の時間帯に約200羽を確認したところです。

川鶉は、鳥獣保護法（鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律）により、原則として捕獲等ができないこととなっておりますので、基本的な川鶉対策としては、猟銃、ロケット花火、カカシ等による「追い払い」の方法が考えられます。但し、ご質問いただいている地区は、猟銃の使用が制限されており、また、ロケット花火等での追い払いにつきましても、川鶉は、一定の水場があればどの場所にも巣を作る可能性があることから、結果として、ねぐら（住みか）の範囲がさらに拡大する恐れがあるなど、極めて難しい問題がございます。

環境省が策定した「特定鳥獣保護管理計画のためのガイドライン及び保護管理の手引き（カワウ編）」によりますと、川鶉対策は、市単独での対策では効果がなく、県全体、若しくは関東地方全域など広域的な体制を整えたうえで、対策を実施していくことが重要であるとされています。

茨城県の水産振興課に、県の川鶉対策の取り組み状況について確認しましたところ、昨年度から、水産被害対策を目的として、被害防除対策の検討をはじめており、今年度については、川鶉の県内生息環境調査を実施するとのことでした。

市といたしましては、那珂湊地区の状況を詳しく伝えるなど、今年度実施する県の生息環境調査への情報提供を行い、県と連携して、どのような対策が有効か、検討を進めてまいりたいと考えております。

#### ◇事前質問3 関連

川鵜の問題はここ1～2年の問題ではないのです。県がどうか、市がやらなくては全体でやらなくては駄目だという事はやりたくないからそういう事を言う。まずは、市民からそういう事を言われたら、何でもいいからやってみなさい。一斗缶を叩けば逃げるから。それを10回もやってもまた元に戻るが、それはその時に考えるなどのやり方をすべき。

#### ■市民生活部長

川鵜につきましては何年も前から住みだして、南の方から来たとか色々な噂もありますが、水を抜けばどうにかなるのか。ただ民地の部分もありますから、その辺も含めて検討が必要な状況になっております。また、水を抜き、追い払うと名平洞にくるのではないかといろいろな想定をした中で、ここまで問題が先送りになってきたのかと。ただし去年、県の方でも動きまして、水産被害。内水面だとは思いますが、その辺の被害を捉えた中で検討していくとの話がありましたので、市でも積極的に県と状況の話をしながら、どういう対策が取れるのかを含めてやりたいと思いますのでよろしくお願いします。

#### ◇事前質問4（ひたちなか海浜鉄道の新駅について）

新駅の設立については、マスコミ等で承知しているが、当自治会地内に今秋に開設するにあたり、地元自治会は、関係先の①ひたちなか海浜鉄道、②ひたちなか東警察署、③ひたちなか市役所へ要望を提出している。

要望の概要は、1 安心・安全の確保（工事中、開設後も含めて）、2 地域の防犯（人の往来、車両等の増加）、3 道路幅員が狭いための交通規制

4 月末日現在、地元への具体的な説明がないので、工事着工前に地元と近隣自治会を含めた説明会の開催をお願いしたい。

#### ■企画部長

関戸自治会から頂戴しました新駅設置に伴う交通安全対策や防犯対策に係る地元説明会を開催してほしいということにつきましてご説明いたします。

はじめに、那珂湊中学校区の皆様をはじめ、おらが湊鐵道応援団の皆様、さらには沿線地域の皆様には、日頃より湊線の利用促進活動や各駅の環境美化活動などを継続的に取り組んでいただいていることに対しまして、心より感謝申し上げます。

昨年は湊線開業から100周年を迎えた記念すべき年でありました。震災後大きく落ち込んだ利用者数も、昨年度は840,173人と新会社発足以降最高を記録しました。特に、通勤・通学定期の利用者数の増加が大きく、これも沿線にお住まいの皆様が、日常的に湊線を利用いただいているお陰であり、改めてお礼申し上げます。

すでにご承知のとおり、ひたちなか海浜鉄道におきましては、本年10月の供用開始を目指し、那珂湊駅と中根駅の間、国道245号高架橋下に新駅「高田の鉄橋駅」の設置を予定しておりますが、地元自治会の皆様から、新駅の建設工事期間中や開設後の交通安全対策、防犯

等についてのご心配の声を頂戴しました。

このため、今月 19 日の午後 7 時から、ここ那珂湊コミュニティセンターにおきまして、新駅予定地の地元であります関戸町自治会様をはじめ、周辺の田中町自治会様、柳が丘自治会様、柳沢美多田自治会様、相金自治会様、小川自治会様の 6 自治会（34 名出席）の皆様にお集まりいただき説明会を開催させていただきました。

説明会では事業主である海浜鉄道から「新駅の概要や工程」及び「新駅周辺の安全対策」等について説明をさせていただき、それに関するご意見やご要望等をいただきました。特に新駅予定地前の幅員 4 m の市道についての交通安全対策の徹底や新駅周辺の防犯対策などのご要望をいただいたところです。

説明会での質疑応答について 2、3 ご紹介しますと、新駅前から恵愛小林クリニック前の踏切までの市道が延長にして約 500m あると思いますが、幅員 4 m と狭く、これまでも一般的な車両のすれ違いが容易ではなく、そのうえ新駅が開設されたことによってさらに交通量が増加し、事故等の発生が懸念されるため、対策を講じほしいとのご意見を頂戴いたしました。

これに対しまして市は、新駅開設に当たっては、新駅前の国道管理用地（高架橋下：面積約 65 坪の三角地）を常陸大宮土木事務所から借り受け、乗降スペースとして使用するため、新駅前部分でのすれ違いは問題ないと思われませんが、新駅前部分以外の道路については、開設後の状況により交通量が多い場合は、地元からの意見として東警察署に要望する旨の回答をいたしました。

また、この道路が抜け道的な利用もされており、交通量調査をしてほしいとのご要望も出されまして、工事着工前に実施することといたしました。調査結果につきましては、交通規制の参考資料として東警察署に提出する予定としております。

また、開設後の新駅周辺の防犯灯設置や地元警察署によるパトロール強化についてのご要望もあり、東警察署や市担当課など関係機関と協議させていただきたいと回答いたしました。

さらに、柳が丘自治会様からは、柳が丘団地から新駅までの直線的な道路の整備についてご要望がありましたが、中丸川への橋梁架設を伴う大規模な工事となるため、ご要望として承る旨の回答をさせていただきました。

その他、関連するものとして、新駅ホームの反対側にある国道高架橋の橋桁に、国道をアンダーで横断する農道が治安上好ましくないとご指摘や田中後区画整理区域内の公園整備、相金地区からカドヤ方面へ通じる道路の踏み切り拡幅についてもご要望がございました。

市といたしましても、公共交通の利用促進や海浜鉄道の経営を支援する立場から、新駅設置に係る工事や開設後の交通安全対策、防犯対策について海浜鉄道や関係機関とともに対応したいと考えておりますので、お気づきの点がございましたら、海浜鉄道または市企画調整課までご連絡いただきたいと思います。

なお、工事期間中につきましては、ホームに接する市道の一部区間（関戸第 1 踏切入り口付近から関戸第 2 踏切入り口付近までの延長約 100m）を全面通行止めといたします。現場には誘導員を配置するとともに、交通誘導等の案内板も設置いたします。さらに、工事着手前には市報の配布に合わせ関係する自治会様に工事開始のお知らせと交通規制に関するチラシも配布したいと考えております。

周辺にお住まいの皆様におかれましては、ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力

を賜りますようお願いいたします。

#### ◇事前質問4 関連

6月19日、企画部長を始め、関連会社の主催の説明会がありました。ありがとうございました。それにつきまして、私なりにもうちょっと事業の確認申請をすとか、その前に地元の説明会を開いて欲しかったと。着工前に事業の説明をされたところで、要望はなかなか伝わらないと思います。そこで、別な方向で確認したいのですが、市議会では、新駅についての案件は議論されたのでしょうか。お聞かせいただきたいと思います。

#### ■企画部長

議会とのかかわりでございますが、新駅開設は海浜鉄道が事業主で実施するものでございます。市は公共交通の利用促進や海浜鉄道の経営支援という立場から、新駅設置に係る費用の一部負担・コミュニティバスの運行といったものに予算を執行するという事で計上させていただいておりますので、予算執行という意味で当然議会には説明をいたしておきまして、ご理解をいただいているところです。

#### ◇事前質問4 関連

何故、このような質問をしたかという、開発のプロジェクトがある時は、事前に地域とのコミュニケーションをとっていただきたいのです。先程、七町目自治会さんからありました船産の件もそうですし、いつも言っています自立と協働と、やはりそう言うからには地域の意見や要望を取り入れるようなプロジェクト、開発にして欲しいと私は思います。

#### ■企画部長

新駅設置に関しましては、平成22年の秋頃、柳沢自治会からご要望があったのがきっかけでございますが、駅の場所について、どこがベターなのか、いろいろ工事費用や需要見込を考えまして、最終的には国道245号の下になったという事でございますが、これまでも柳が丘自治会や関戸自治会と場所や名称はこうなると個別なお話しはさせていただきましたが、全体を通しての説明会は、先ほども申し上げましたとおり6月19日になってしまいました。その点については工事が始まる1か月前にけしからんというご指摘は、素直に受け止めてまいりたいと思いますが、決してこれまで地元は何の説明もしないで進めてきた事ではないと思います。

#### ◇事前質問5（道路の改善について）

栄町T字路交差点から栄町二丁目交差点（田中町）へ通じる市道は、大型車両の往来も激しく交通量の多い幹線道路で、東日本大震災により被災し、その復旧工事が昨年7月に完了した。工事完了後に、大型車両が復旧工事による舗装終点から既存の部分に入る際に大きな振動が発生して、現に、舗装終点からその500m先までの道路には亀裂が確認されるので、早急に調査し然るべき措置を講じていただきたい。

#### ■建設部

ご指摘の箇所につきましては、栄町の旧那珂湊魚市場前の路面かと思いますが、道路の状態が悪いことを認識しております。本日の資料、平成26年度主要事業内容の市道整備事業の15番に舗装補修工事として掲載してありますとおり、今年度に延長160メートルの維持補修工事を行うことが決まっております。

工事につきましては9月上旬を予定しております。その時期がきましたら小川自治会さんにご連絡したいと思います。

#### ◇事前質問6（和田町常陸海浜公園線の計画スケジュールについて）

和田町常陸海浜公園線が完成すれば、災害時の避難道路が確保され、那珂湊地区の交通渋滞の解決など、その効果ははかり知れないものがあり、地域住民は早期の完成を希望している。

市は重要課題と位置づけしているものの、その計画の基本スケジュール完成時期等については明確にされていない。現段階の計画を明確にすべきで、いつ頃着工しいつ頃完成するのか計画を教えて欲しい。

#### ■都市整備部長

和田町常陸海浜公園線は、「おさかな市場」から「ひたちなか地区」を結ぶ計画延長6,200mのうち、船窪土地区画整理事業区域内の約580mが未整備区間となっており、土地区画整理事業で用地を確保し、整備することで完結する事業計画になっております。

現在の区画整理事業計画では、和田町常陸海浜公園線とひたちなか海浜鉄道との交差方式は、立体交差方式であります。事業費の縮減・長期化の回避や避難道路の確保等より、海浜鉄道との交差を平面交差にすることが有効な手法と考え、平成24年度より県及び国土交通省と協議を進め、平成25年度に平面交差での道路整備について理解を得ることが出来ましたので、現在、都市計画変更手続きの準備を進めているところであり、今年度中の都市計画変更決定を予定しております。

並行しまして、平面交差化に基づく船窪土地区画整理事業の見直し作業を進め、地区内の合意形成を図り、区画整理事業の早期整備を図ってまいりたいと考えます。

見直し作業スケジュールとしまして、今年度は、現地測量調査や広報誌による権利者への見直し状況の周知を図りながら、見直し計画書の策定を行い、まとまった段階で審議会や権利者への説明会等具体的な見直し内容を説明してまいります。その後、平成29年度には見直しに基づく事業の再開が出来るよう進めてまいります。

残念ながら現時点ではいつまでという見通しは申し上げられませんが、和田町常陸海浜公園線につきましては、本地区の骨格として、また災害時の避難路としても重要な路線でありますので、再開後は最優先で整備してまいりたいと考えます。

いずれにしましても、事業の見直しにつきましては、権利者の皆様への十分な説明と話し合いを持ちながら進めてまいりたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

#### ◇事前質問6 関連

和田町常陸海浜公園線の計画について、只今説明をいただいたのですが、土地区画整理事業として全体を考えていく中でかなりの課題・問題がありそうなので、時間がかかりそうなのかなと思ひまして、この点については了解しました。要望ですが、長く掛かるようであれば正規の幅員の道路、全体を見るのではなくて結構なのでとりあえず一本、例えば極端な言い方をすると砂利道でもいいので通すような事が考えられればお願いします。普段は通れなくていいのです。災害があった時だけでも少しでも通れれば、そういう道路が1本早目に出ていけばいいかなと思つての要望としてお願いします。



## ■都市整備部長

ご要望の趣旨はよくわかりますので、検討させていただきたいと思います。それと、津波避難マップをお配りさせていただきましたが、原則、津波の時は、当然逃げていただくのが一番大事なこととお知らせしているところがございます。津波の遡上につきましても、説明会等でもご案内しておりますが、大体、今の踏切のところまでが遡上の範囲と捉えております。ですから徒歩で踏切まで行ければ、完全に安全という事ではありませんが、そこまでがマップで表示されている範囲でございますので、その辺のところもお含み置きいただきたいと思うところがございます。

### ◇事前質問6 関連

よくわかるのですが、那珂湊には魚市場がありまして、不特定多数の車が日常的に来ています。その人達は必ず車で逃げます。那珂湊の人は歩いて逃げろとハザードマップに書いてあるので、ほとんどの人はわかっていて出来るだけ車に乗らないで避難するようになると思いますが、よそから来た人はまず、車で逃げます。そうしたら渋滞になってしまうのです。また、災害は津波だけではなくて、原子力事故もでございます。原子力事故の場合は津波がくる範囲までということではなくて、やはり避難道路というのは、いつでも必要なようにしておいていただかなくてはいけないと考えますのでよろしくお願いします。

### ◇質問7

トイレ等を下水道に流す事をやっていますね、ひたちなか市全体としては何%くらい移管されているか、また、旧那珂湊としてはどの位移行されているか、と言うのは、話を聞きましたところ、下水道に繋ぐと水道料が倍になるので、容易じゃないから繋がらないという事を耳にする事があります。もちろん、個人差もありますし、生活も掛かっているので一概に言えませんが、浄化槽を作ってやっていますところがありますが、浄化槽がいっぱいになると下水に流れます。そうすると天気が悪い時に、朝起きるとものすごい臭いがします。衛生的にも非常に悪いです。地区によっては臭いにおいが漂っているのが感じられるのですが、市としては今後、どのように推進していくのかその辺の考え方を聞かせてください。

## ■建設部長

下水道への接続につきましては、2名の嘱託職員により戸別家庭訪問し下水道接続指導を行っています。また接続率の低い旧那珂湊地区を重点的に行っております。

下水道接続率につきましては、旧那珂湊地区は58.2%、全体では91.0%であります。

### ◇質問7 関連

多分、把握していないだろうと思います。今後、市としてどのように推進していくのか。結局こういう事が100%できるならば、本来の文明的な社会というか、地区になると思うのです。それを全然やっていない地区・やっている地区。達成率が上がれば上がる程、文化的な生活になると思うのです。それに対して市としてはどのように推進しているのか。私の感じとしては、さっぱり動いている様に見えないです。始めた頃は、一生懸命敷設のお願いの声掛けをしていたと思うのですが、予算の関係もあるでしょうが全然今はそういう運動の声が聞こえてきません。

## ■建設部長

接続率の低い地域を重点的に、7月、9月、11月、2月の年4回、県下水道課職員及び県下水道課職員と共同で下水道接続指導を実施しており、今後も下水道への接続の指導を強化していきます。

### ◇質問7 関連

囑託職員2名でこの地区をまわるのは、やっていないのと同じじゃないですか。形だけでやっているという返答ですが、人員的に考えた時にどう思います。やっていないなら素直にやっていないとか、今後こうやっていきますとか、今後こういう方向で考えていますとかと言われた方が建設的であって、1名や2名の囑託職員でやっていきますでは言い訳になってしまふと思います。そういうところが誠意がないと思います。

### ◇意見・要望

2年間になります放射線測定をやっています。今回の事故で海沿いが放射線で結構汚れていまして、残念な事に自然が豊かなところ程、放射線の汚れている状況がわかってきてしまったのです。北風が当たっている大きな木の根本は濃縮度が高いというのがわかって、近くにおいては神敷台の県道の通学路は、1kmのところにはケヤキが166本ありまして、その根本は濃縮度が高く、年に8掛け位で下がってはきていますが、まだ国が言っている0.23 $\mu$ Sv以上の物が166本の内144本を超えている状況です。あと5年程経ちますと3分の1位に減ると思いますが、その間まだ高いのと通学路でもありますので、少なくとも除染ができないのであれば、印だけでも付けて欲しいと県の担当者には言ってきていますが、なかなかやっていただけないので、市長に高い状況を報告と共に、子供の被ばくを下げるという意味でも、とにかく子供が近づきやすい場所で測ってこの状況ですから、ホットスポットのところで毎日生活をしている子供の事を考えた測り方があるのです。環境省の測り方をすると全体を把握、事故の当時の把握をするための方法ですから、その辺の考え方を変えていただきたいと思っているのですが、なかなか変わらないものですから、印がついているところは、放射線量が高いという事を教育だけでもしていただきたいと思います。データを持ってきましたので、あとでごゆっくり見てください。

司 会

最後に懇談のまとめを市長より申し上げたいと思います。

## ■市 長

大変貴重なご意見、また叱咤激励をいただきまして大変ありがとうございます。私どもは基本的にまじめに対応させていただくつもりでありますので、是非ご理解いただきたいと思っております。あまり時間がないので何点か私の考え方をここで申し述べさせていただきます。

教育委員会を勝田の本庁舎の裏に持ってきたのは私の考えであります。教育行政、一部生涯学習、スポーツ、文化部門は、市長部局にこの4月からしました。また法律も変りまして、首長と教育委員会の関係がかなり密接にもなります。教育行政上、またいろいろな意思決定上、私は行政の場合は特に現場のいろいろ対応の問題は別でありますけれど、全体的な行政

の企画運営については、集中的な場所でやるべきであると言う考えでありましたので、20年経過をいたしましたがこのようにさせていただきました。

提案をいただいたわけでありまして、今の湊支所は耐震上持ちません。ですからあれはまだ議会にもはっきり言っておりませんが、改築をする方向になると思います。その際にどういう機能をもたせるかという事について今ご提案をいただきましたが、充分検討をさせていただきます。私も特にここは津波、海岸を持っておりまして、災害対応と言っても、やはりここ固有の情報収集や対応の仕方が当然あると思います。したがって、ここに防災課を設けたらどうかというご意見でありますけれども、非常に意味のあるご提案だと思っております。少し教育もやったらどうかという話もありましたが、そういう機能を含めて是非検討してまいりたいと思います。いずれにしても今の教育委員会が入っている建物を耐震化してもものすごく手がかかるのと、効果もかなり疑問であるという事でもありますから、あの建物を残すことは考えられません。今の支所も皆さん少し思い入れもあるかもしれませんが、あれも持ちませんのでこの支所プラスどういう機能であるかということについては、しっかりと対応させていただきたいと思っております。

それから冒頭にふれませんでした。湊二高も湊中学校の建替えの仮校舎代替校舎で26年度は使っておりますが、27年度以降の活用については、今いろいろな角度からご意見をいただいたりしているところであります。出来ればかつて高校生がいた校舎ですから、若い人達が勉強する、学ぶような場所として活用できないかという事も考えています。あまり具体的に言うといろいろ支障もまだある段階であります。例えばこの地域はお医者さんも全体的に少ないですが、看護師も少ない状況であります。また、介護関係の人材養成という事もあります。民間の方とも連携をしながら少し考えていく。それから地域型の総合スポーツクラブというのは、この地域できていますけれども、あそこは体育館があり運動場があるわけですから、そういう意味では、地域の方にも充分使っていただくような活用を図ることが非常に重要な課題であります。

それから和田町海浜公園線については、ご意見をいただいたとおりであります。その区画整理の中でやるということですから、区画整理上の手続きはもちろん必要でありますけれども、市としての考え方は、あそこに単純に道路を通すくらいのつもりで、まずこの区画整理の順番を考えるという形でやりたいと思っております。暫定的に仮に通れるような形にするかどうかご提案もいただきました。そこまで回りを道にするのか、それとも一気にできるのか。とにかく地権者もいらっしゃいますので、ただご要望もかつてからいただいております。船窪の区画整理は早くやれと言われてましたが、あの従来の計画ではとても出来ませんので、お金もかかり本当に宅地もあれだけ必要かという事もあります。ですから土地利用自体をもう一回見直すということで、その中で道路を通すことが最優先だと認識をしています。今は市施行に切り替えたのです。ですから市が責任を持って進めて行きますのでご了解をいただきたいと思っております。

それから、下水道の話で若干データ的に良く整理されない回答になって誠に申し訳ないです。市の下水道普及率は55%ぐらいなのです。湊もそんなに低いわけではなく、ただ接続率が低いのです。どちらかと言うと管を持ってきているのは湊の方です。ただそこから先を高齢化している、お金もかかるどうしたものかと言うので、なかなか接続が進まないのが実態で

す。嘱託職員が、管がここまで来ているのになかなか接続されないので接続してくださいというので動いているのですけれど、そういってもなかなかこのままでは進まないのではと思っています。ご負担があるわけでありますから。旧勝田の方は下水道ばかりやれば良いわけでもないとなっています。合併浄化槽でやった方がはるかに合理的、かつ早く対応できるところは合併浄化槽でやるというように、どちらかと言うと仕分けをやっていまして、管を持っていくと一気に40件50件接続できるようなところに管を持っていくという事で、今かなり区分けをしてやっている状況です。湊の方は接続していただくのがどちらかと言うと課題だと、下水道というのは既存の道路を使うものですから、そう言うところが先に通りやすい。区画整理をしているところは二度手間になるので、区画整理を終わらないと下水道を引きませんという地域が市内にかなり多くありますから、下水道普及率はそんなに高くない状況です。合併浄化槽も含めてのいわゆる生活排水の処理率という、当然90何%という事ですけど、下水道の接続率というのはかなり問題になっています。去年も出ました名平洞の水の問題。これは下水の問題だと話もして、その辺も良く皆さんと共通理解を持ってやらなければいけないという事を、ここでお話をさせていただいたわけでありますけれど、引き続き課題になっていると思います。

そして、和田町海浜公園線にしても新駅の問題にしても、事前に良く地元の方とすり合わせをして意見を聞いてもらいたいと言うお話がありました。そのとおりでらうと思います。いづれにしても地元の要望が強い事業でありますので、なるべく早くやらなければいけないと言う観点で進まさせていただいております。いろいろな手続きや市役所でもこのところはちょっと想定できなかったとか、思い至らなかったところが出てくることは充分考えられると思っておりますので、是非その点についてもご意見を賜ればと思います。

放射線のお話もでしたが、子どもたちの健康管理安全という点で、相当な配慮をしてこの問題にも取り組んできているつもりであります。まだまだ至らない点やこういう点があるという事であれば、またこういうご提案に基づいてどんなやり方がベターなのか、ベストはなかなか難しいと思います。除染しても持っていくところがない。焼却灰もかなり高いレベルの指定廃棄物も、いまだに茨城県でどこにするか決められない状況なわけであります。なかなか完全にこの問題をすっきりさせるわけには行かないわけであります。これも一つ一つの積み重ねだと思っておりますので、一つどうぞよろしくお願いを申し上げたいと思います。

まだまだ言いたい事がいっぱいおありだと感じています。そして津波の遡上高とか水深とかややこしいので、詳しく説明させていただく説明会もやれると思います。データも今回もかなりその辺を意識して作っていますので、私も2、3点注文をつけたぐらいです。私が見てもちょっと誤解しそうなところも実際問題ありますので、市民の方はこういう危険があってこういう対応するという最低限のことは基本に頭に入れてもらう、これが必要だと思います。その辺についても各自治会の方で対応していただけるわけだとは思いますが、しっかり情報提供をしてまいりたいと思います。

最後になりますけれど、湊中学校区もこの4月から公民館の地域運営をやり、市民会議を運営されております。地域の色々な課題について、小沼会長も皆さんも大変ご苦労されておられるかと思っております。この地域の取組み、いろいろな課題問題についてはそこでも良くご議論されるかと思っております。これはやはり市役所がしっかりやらなければいけないということに

については厳しく出していただき、これは我々が出来るのだけど、ここのところは少し市役所が手を入れろと言っていただき、そういう役割分担をしっかりとさせていただきたいと思いません。

ここにいるメンバーのかなりの者が、旧湊出身という事になっています。したがって非常に期待も高いのかなと思います。最初の話では顔を良く知っているので良い意味でも悪い意味でも、いろんなことを言っていただければと感じました。余計な結びになってしまいましたが、貴重なお時間いただきました。

今日だけに限らず市政懇談会やっていると私は思っておりますので、今後ともどうぞよろしくご指導ご鞭撻を賜りたいと思います。5分オーバーしたことをご容赦いただきたいと思えます。どうもありがとうございました。